

重要ポイント

《摂関政治》

藤原氏の発展

1 北家の摂関家への発展

藤原良房 (冬嗣の子)	842 承和の変 = 伴健岑・橘逸勢ら配流 858 清和天皇(良房の外孫)歳で即位 事実上の摂政 866 応天門の変 = 伴善男・紀豊城ら流罪 正式に摂政就任
藤原基経 (良房の養子)	884 光孝天皇即位 実質上の関白 887 宇多天皇即位 正式に関白の時, 阿衡の紛議 = 橘広相を処罰)
藤原時平 (基経の子)	899 左大臣就任(右大臣は菅原道真) 宇多天皇の親政(寛平の治)下 901 菅原道真, 大宰権帥に左遷 醍醐天皇の親政(延喜の治)下

2 天皇親政の復活(9世紀末~10世紀前半)

寛平の治[宇多天皇]藤原基経の死 摂関不設置・北家牽制のため菅原道真を登用

894 遣唐使の廃止(菅原道真の建議) 唐の疲弊と航路の危険

延喜の治[醍醐天皇] 『延喜格式』(最後の格式)・『日本三大実録』(六国史の最後)の編纂、『古今和歌集』
(最初の勅撰和歌集)の撰上

902 延喜の荘園整理令 最初の荘園整理令、最後の班田の年

914 三善清行「意見封事十二箇条」を奏上 地方政治の混乱

<国際環境の変化> 唐の滅亡(907) 五代 宋(960~1279)

遼(契丹)が渤海を滅ぼす(926)

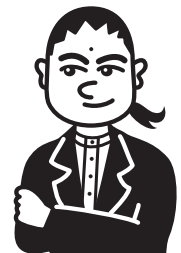
高麗が新羅を滅ぼし、朝鮮半島統一

天曆の治[村上天皇]『後撰和歌集』撰上

958 乾元大宝(皇朝十二銭の最後)の铸造

3 摂関政治の全盛 969 安和の変 = 源高明を左遷 他氏排斥の完了 = 摂関常置

道長の時代 (996~1027)	御堂関白, 京都に法成寺造営 [全盛の様子 = 藤原実資の『小右記』] 4人の娘を后妃 = 天皇の外戚 一条・三条・後一条の内覧・摂政
頼通の時代 (992~1074)	宇治殿, 宇治に平等院造営 後一条・後朱雀・後冷泉の3天皇の50年間, 摂政・関白



【練習しよう】

- (1) 藤原良房が、嵯峨上皇の死後に伴・橘氏などを排斥した事件を何と言うか。
- (2) 幼少の天皇に代わって政務を行う者を何と言うか。
- (3) 関白に最初に就任した藤原一族の人物は誰か。
- (4) 醍醐・村上両天皇の政治は、何と称せられるか。
- (5) 左大臣源高明が失脚させられた事件を何と言うか。

解答

- (1) 承和の変 (2) 摂政 (3) 藤原基経 (4) 延喜・天曆の治 (5) 安和の変

重要ポイント

《荘園の発達》

1 国司の地方支配

○律令体制による地方支配の崩壊...8C後半～10C初め

- ・調・庸の重い負担 班田農民が逃亡
- ・地方豪族の荘園(初期荘園)の開発・拡大

対策

- ・902(延喜2) 延喜の荘園整理令
- ・班田の励行 失敗(902年最後の班田)
- ・課税対象の転換...人間 土地
- ・国司の権限拡大...徴税請負人となる

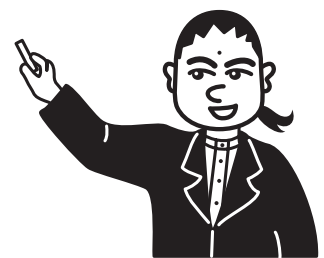
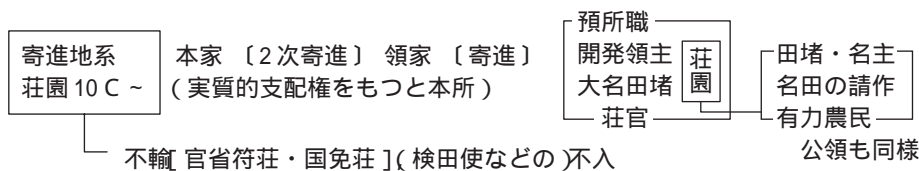
国司は有力農民に耕作を請け負わせる

→ 請負人...田堵(大規模運営...大名田堵)
名主に成長、請負地...名田(名)

国司職の利権化

- ・成功...私財を献上して官職をえること
- ・重任...同じ国の国司に再任されること
- ・遙任...地方に赴任せず、かわりに目代を派遣
- ・受領...地方に赴任した国司のうち最上席の長

2 荘園の発展



【練習しよう】

- (1) 私財を朝廷に納める事によって国司の地位につくことを何と言うか。
- (2) 一定の私財を官に納め、国司に再任される事を何と言うか。
- (3) 荘園内の小土地所有者で10～11世紀頃に出現した者を何と言うか。
- (4) 田租の免除の特権を何と言うか。
- (5) 国司が輸租田に対して土地検査などのために派遣する役人を何と言うか。

解答

- (1) 成功 (2) 重任 (3) 田堵 (4) 不輸(租)の権 (5) 検田使